

編集主幹より小島正憲さんの紹介

前回ニュース（75号）で「ミャンマー：スー・チー氏の誤算・国軍の誤算」という記事を掲載しましたが、著者の小島正憲の紹介がなされていませんでした。

大西広先生よりプロフィールご紹介いただきましたので、以下転載させていただきます。

少し古いものですが、ネットに以下のようにあります。

「1947年、岐阜県生まれ。同志社大学経済学部卒業。69年（株）小島衣料入社、81年同社代表取締役就任。日本における縫製業の環境悪化のため日本脱出。91年から17年間にわたり中国で縫製工場を経営。91年の湖北美島服装有限公司設立を皮切りに、93年上海美旭服装有限公司設立。2001年上海桜島服装設計有限公司設立。2003年友島上海紡績品有限公司、上海騰翔有限公司設立。2005年武漢佳島服装有限公司、上海雅色服飾有限公司、琿春市に小島（琿春）服装有限公司を設立。このほかタイ、オーストリア、韓国、ミャンマーなどでも縫製工場の経営経験がある（本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです）

『中国ありのまま仕事事情 楽書ボックス』より」

彼は何も隠すものではなく、おおびろげに自分を隠さず発言されています。

ただ、上のプロフィールは古いので、現在は「小島衣料の会長職」だったと思います。取り急ぎ。

以上

お読みになっていただければ分かるように、現場目線でリアルに過不足なく、ミャンマーの現状が描かれています。

ラテンアメリカではよく言うのですが、闘っている人たちへの「無条件の敬意」（オメナへ）と、闘いの歴史を踏まえた未来への展望が、連帯運動の基礎に座るべきです。

AALAニュースはそのような情報をできる限り取り上げていきたいと思います。

